

## 電球形蛍光灯がもっと身近に買えるようになります

コンビニ、スーパー、電気店の協力により、白熱球一掃作戦を展開

東京都では、「気候変動対策方針」において「白熱球一掃作戦」を掲げ、家庭で使用される電気の2割弱を占める照明の節電を推進しています。このたび、コンビニエンスストア、スーパー、電気店と連携し、都民の皆さんが電球形蛍光灯をもっと身近に購入できるよう、下記の取組を展開することとなりましたので、お知らせします。

### 販売事業者における取組の概要

- 都内に店舗を有する(社)日本フランチャイズチェーン協会加盟の全てのコンビニエンスストア各社においては、電球形蛍光灯の取扱いを実施(一部の会社では10月より開始)し、各店舗への推奨を行う。
- 都内に店舗を有する日本チェーンストア協会加盟の会員各社においては、売場拡大や割引セールの実施等により、電球形蛍光灯を積極的に販売する。  
(スーパー各社の取組内容を別紙に記載)
- 東京都電機商業組合加盟の各店舗においては、消費者が電球を購入する際に、店頭で電球形蛍光灯の省エネ性能などメリットを宣伝する。

※各団体等の取組状況については、ホームページを開設し紹介していく予定です。

### 都庁の率先行動としての取組

- 都有施設で現在使用されている白熱球約2万9千個(非常灯など交換不可能なものは除いている。)について、原則として平成20年度末までに電球形蛍光灯に交換する。

年間53.6万kWh、207t-CO<sub>2</sub>の削減(一般家庭約100世帯分の排出量に相当)

※1日2時間、年間220日使用すると仮定した場合の効果

今後、本作戦をきっかけに、電気代の節減でCO<sub>2</sub>を減らす取組が全ての家庭で広がるよう取組を強化していきます。

### 【問い合わせ先】

東京都環境局都市地球環境部 小川(温暖化対策担当)  
電話:03-5388-3427(直通) 42-760(内線)

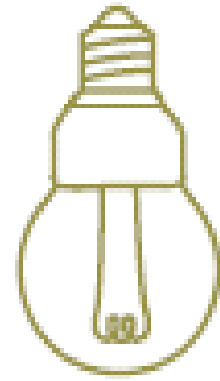
## スーパーマーケット各社における電球形蛍光灯の販売促進に関する取組

(社名は50音順)

社名	具体的な取組内容	
イオン株式会社	目立つ場所に陳列する 大きく売り場拡大予定 大型店舗中心にエンド売場拡販企画進行中 POP・ポスターを製作し掲示	
イズミヤ株式会社	折込チラシに省エネ情報を掲載する 目立つ場所に陳列する 価格を割り引く	
株式会社イトーヨーカ堂	目立つ場所に陳列(店舗によっては二箇所) 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社いなげや	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社エコス	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	〔電球形蛍光灯 取扱店のみ〕
小田急商事株式会社	価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社京成ストア	目立つ場所に陳列する POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社スーパーアルプス	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社西友	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社ダイエー	折込チラシに省エネ情報を掲載する 目立つ場所に陳列する ニュースリリース発行 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社大丸ピーコック	おすすめ品として1ヶ月間の割引価格を設定し販売 白熱球の売り場フェイスを縮小中 メーカー使用の省エネ性能PRのPOPを売場に付けて販売中	
株式会社東武ストア	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く 年末お買い得企画として、山積み予定 POP・ポスターを製作し掲示	
株式会社松坂屋ストア	折込チラシに省エネ情報を掲載する	
株式会社ライフコーポレーション	目立つ場所に陳列する 価格を割り引く POP・ポスターを製作し掲示	

※ 取組の実施期間は各社により異なります。また、一部実施済みのものを含みます。



# 白熱電球60型 54W



# 電球形蛍光ランプ 12W



※1 時間使用した場合の比較

消費電力 ※	54Wh (電気代 1円)	12Wh (電気代 0.2円)
CO <sub>2</sub> 体積 ※	10.6L  2Lのペットボトル 5本分	2.4L  2Lのペットボトル 1本分
CO <sub>2</sub> 重さ ※	約21g	約4.6g
寿命	1,000時間	6,000時間